



宮城県気仙沼市唐桑半島

3・11からコロナ禍まで

たくさん笑って たくさん泣いて

こころを紡ぐ 民宿「つなかん」の物語

ただいま、 つなかん



語り: 渡辺 謙 | 監督: 風間 研一 | 音楽: 岡本 優子

ゼネラルプロデューサー: 宮藤 隆平 | プロデューサー: 熊崎 木緒子 | 編集: 井上 秀明 ©2023 bunkakobo
配給宣伝協力: クッキー・プロダクション | 宣伝協力: リガード | 制作著作: 文化工房 | 日本ドキュメンタリー

2023年 | 115分 | 16:9 | カラー | DCP | 日本 | <https://tuna-kan.com>

※文部科学省選定(青年向き・成人向き)

協賛: 宮城県 | 気仙沼市 | 気仙沼商工会議所 | 気仙沼市観光協会 | 仙台国際空港



震災によって生まれた「絆」のその先には 誰かが誰かを思う気持ちが溢れていました♡

宮城県気仙沼市唐桑半島 鮪立。美しい入江を見下ろす高台に
民宿「唐桑御殿つなかん」はあります。

100年続く牡蠣の養殖業を営む菅野和享さんと一代さん夫妻は、
東日本大震災当時、津波により浸水した自宅を補修し、学生ボランティアの拠点として開放、
半年間で延べ500人を受け入れてきました。若者たちに「つなかん」と呼ばれたその場所は夫妻
の「皆がいつでも帰ってこられるように」との思いから、2013年の秋に民宿に生まれ変わります。
女将となった一代さんは、自慢の牡蠣やワカメを振る舞い、土地の魅力を自ら発信。そんな「つな
かん」に引き寄せられるかのように、次々とこの地に移り住む元ボランティアの若者たち。彼らは
海を豊かにする森を育てたり、漁師のための早朝食堂を営んだり、移住者のサポート体制を整え
たりと、地域に根ざしたまちづくりに取り組み始めます。復興のその先を見つめる一代さんと若者
たち。そんなある日、海難事故が発生。養殖業を廃業し、閉じこもりがちになった一代さんを思い、
全国各地から「つなかん」に集まってくる元ボランティアや仲間たち。涙なみだの時を経て、民宿
は再開。いつしか若き移住者たちは新しい命を授かり、地域を担う立場となっていきます。そして、
コロナ禍による民宿存続の危機の中で迎えた2021年3月11日。震災から10年という節目を機
に、一代さんは大きな一歩を踏み出そうとしていました。



民宿
唐桑御殿
つなかん
とは

tuna → tuna-kan ← kan
鮪立 唐桑半島 つなかん 菅野

唐桑のシンボルでもある大きな入母屋造の唐桑御殿。遠洋マグロ漁
が最盛期の頃、漁師たちは競うように立派な家を建てた。東日本大
震災当時、菅野夫妻が開放した唐桑御殿の自宅を、学生ボランティ
アたちは親しみを込めて「つなかん」と呼んだ。民宿となった今も全
国から多くの人々が訪れている。2023年、民宿開業10周年を迎える。

復興支援のため気仙沼を訪れた2011年6月、菅野夫妻
と出会いました。
そこから現在まで毎年、支援物資や畑で作った野菜を
トラックに乗せ、片道1000キロ以上離れた東北に届
けています。行けば必ず宿泊するつなかんに、ボラン
ティアを通じて出会った仲間達が集ってくれます。
このつなかんで出会った、沢山の想いと人の繋がりを
新居浜の皆さんに感じてもらいたいと思い、上映会を
企画しました。
想いで繋がり、支え合う、そんなまあるい世界になっ
ていけばいいなと思います。

主催者代表 近藤 千年

つなかん女将 菅野一代さん

主催者 近藤 千年

たかみー

やのひろみさん

20:00~
トークライブ開催!

2023 bunkakobo

2024年2月18日(日) ①13時~ ②18時~ (上映後トークライブ) 上映時間115分
あかがねミュージアム 多目的ホール

参加費無料 要予約 ※お子様の席もご予約下さい。

ご予約、お問い合わせ
(0897)41-9401 (近藤産業) ※平日8時~17時のみ
(090)3784-7682 (近藤) ※できるだけショートメールをお願いします
info@konsan.co.jp



↑スマホからの
ご予約はこちら

無料開催のため、可能な限り
のご寄付をお願いいたします。

振込先
伊予銀行 船木支店
1147492
ニイハマシミンノカイ